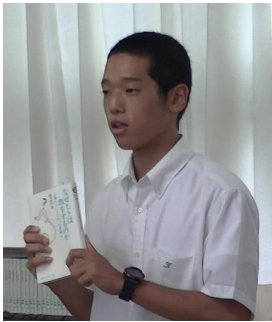


「文化祭でビブリオバトル開催！」とてもハイレベルなビブリオバトルでした

7日から始まった杏和祭（学校祭）。文化祭の部2日目の今日、昨年同様、本校図書室にてビブリオバトルが開催されました。今年は、本好きとして招待された7名の精鋭が、それぞれの本に対する深い愛と造詣をぶつけ合いました。ひとりひとりの発表はとても中身が濃く、5分という制限時間を上手に使ったどれもハイレベルなもので、発表につづく質疑応答においても、いろいろな質問にも速やかに自分の言葉でしっかりと応えていました。最後の観戦者による投票も拮抗し、僅差でしたが1年生の山口さんが今年のチャンプとなりました。チャンプ本は『風が強く吹いている』でした。自分の陸上競技経験を踏まえ、陸上好きの主人公を上手にプレゼンしたことが高く評価されたようです。山口さんは、今月9月25日に行われる「全国高等学校ビブリオバトル2016 東海大会」に学校代表として出場します。ここで優勝し全国大会出場を勝ち取ってほしいですね。



第1バトラー・宮下 尚人さん
『なぜヒトは旅をするのか』
ヒトが旅をする理由は、バトラー自身がかねてより疑問に思っていたこと。自転車旅好きという経験を交えて疑問の謎解きを語ってくれました。



第2バトラー・小林 稜さん
『手紙』
内容の鍵である、身近な人の死についてバトラー独自の視点で切り取ってくれました。



第3バトラー・夫馬 江里加さん
『甲子園だけが
高校野球ではない』
諸事情で甲子園には届かないけれど高校野球にかけるまっすぐさをバトラー目線で紹介してくれました。



第4バトラー・中村 玄斗さん
『ソードアートオンライン
アインクラッド』
バトラーの読書量は半端ない分量のようです。超有名なライトノベルをバトラーのフィルターで表現してくれました。



第5バトラー・菅蒲 志保さん
『時をかける少女』
時代時代で様々なメディアに登場した本作品の原作をあえて読み返し、その書籍としての良さ、文章の奥深さにスポットを当ててくれました。



第6バトラー・安田 朱里さん
『犬と私の10の約束』
これを読むといつも泣けてくるというバトラー。たくさん話して犬と心通じ合うことの美しさにふれてくれました。



第7バトラー・山口 唯月さん
『風が強く吹いている』
プレゼンポイントを絞り込み主人公が陸上を通して成長していく様子を上手に説明してくれました。



図書委員による運営もすばらしかった。
司会・タイムキーパー
・ビデオ記録・BGM・投票の集計 など
多岐にわたって自分たちの仕事をそれぞれ全うしてくれました。特に、司会は、観客からの質問が無い場合は急遽質問係となる難しい任務もしっかり果たしてくれました。



表彰のあと、校長先生による総評。
高いレベルの戦いを称えてくださいました。

